

地方創生交付金【推進交付金】平成30年度事業実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値	⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価
							指標	目標値(H31.3)		実績値(H31.3)	今後の方針	
1	千年の時を刻む心いやす郷づくり推進事業  (基本目標: I「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり)	当地域にしかない豊かな自然や景観、文化の再生・継承を行うことで、都市部住民との交流、移住の促進や企業・大学等との連携に取り組み、訪れたい、住みたいとなる里づくりを行う事業である。 平成30年度については、移住希望者等に対する田舎体験の実施、地域と企業等の交流プログラムを実施、地域に伝わる自然食品等(マコモ、ハトムギ等)の特産品開発等を支援し、農業振興を図る事業等を実施した。 また、「田染荘」を一望できる田染小崎地区・夕日観音周辺の竹林を伐採し環境整備を実施した。 【事業期間:平成28年度～平成30年度】	①里山触れ合い体験事業(PR事業含む) 850千円 ②里山共生対流プラットフォーム確立事業 1,500千円 ③里山体験エリア連携構築支援事業 2,550千円 ④里の山活用による観光交流促進事業 10,000千円 ⑤地域に伝わる自然食品生産拡大事業 5,000千円 ⑥観光を活用した自立できる農業環境確立支援事業 2,250千円	推進	22,150,000円	11,075,000円	指標① 田染荘を中心とした地域の価値を体感する交流人口(事業開始前:1,500人)	5,500人	17,400人	事業の継続	訪れたい、住みたいとなる「心いやす郷づくり」を推進していくためには、中長期的な環境づくりが必要であり、取り組みの継続が求められている。 交付金事業は終了するが、事業は引き続き推進していく。	【地方創生に効果があった】 指標①については、イルミネーション「千年のきらめき」などの効果により、目標値を大きく上回っている。 KPIの実績状況から、2つの目標値が達成できていないが、事業開始前よりも改善しているため、地方創生に効果があったものと考えられる。
指標② 田染地区内における移住者数(小学生以下の子どもをもつ家族又は40歳未満の夫婦のみ)【H30増加分】	12人	9人										
指標③ 田染地域に係る交流促進事業における雇用数【H30増加分】	3人	0人										
2	広域連携アンテナショップ事業 【広域連携:豊後高田市、杵築市、国東市、姫島村】  (基本目標: II「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	広域連携アンテナショップ運営事業による世界農業遺産の里「国東半島ブランド」の推進に加え、「バイヤー商談会」の開催、市場ニーズの把握による商品改善や商品開発を行い、「特産品の販路拡大」「観光振興」を図る事業である。 平成30年度については、特産品販路拡大を図るため東京の座来大分にて商談会の実施や、国東半島へ観光客の誘客を図るため旅行会社と連携したツアー造成を実施した。 【事業期間:平成28年度～令和元年度】	①アンテナショップ運営事業 8,956千円 ②バイヤー商談会 96千円 ③観光誘客事業 1,564千円 ④輸出ルート開拓事業 350千円	推進	10,965,583円	5,459,556円	指標① 新規販路開拓事業者【H30増加分】	1事業者	4事業者	事業の継続	新規販路開拓、観光入込客数については目標を達成している。H31も継続実施。 物販売上額については商品の入れ替えや店舗誘客の促進等を行い、近隣店舗との差別化を図りながら目標値の達成に努める。(H30年度終了時点) アンテナショップについては、福岡市において観光や移住の情報発信拠点として、一定の役割を果たしたと判断し、令和元年12月末を持って閉店。	【地方創生に相当程度効果があった】 新規販路開拓や観光入込客数など、目標を上回り事業の効果がみられる。 KPIの実績状況から、目標値を7割～8割達成しており、本交付金事業は、地方創生に相当程度効果があったものと考えられる。
指標② 国東半島地域への観光入込客数【H30増加分】	1,000人	2,413人										
指標③ アンテナショップ物販売上額【H30増加分】	12,000,000円	7,501,482円										
3	パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズム事業  (基本目標: I「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり) (基本目標: II「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	長崎鼻リゾートキャンプ場を核に「安全・清潔・快適な海水浴場(パーフェクトビーチ)」をコンセプトとした海辺の環境整備を行う事業である。 前年度に整備した、コンテナカフェを継続活用し、ビーチのさらなる誘客を図った。 平成30年度については、オートキャンプ場の整備や、ウッドデッキの設置、既存シャワー室の改修、パーベキュー機材を整備などを実施した。 また、地域資源を生かしたタラソテラピーの事業として、サンセットヨガやSUPヨガの開催、市内温泉施設とタイアップしたタラソテラピーの要素を盛り込んだ宿泊プラン提案などを行った。 【事業期間:平成28年度～平成30年度】	①事業の運営費 6,000千円 ②海辺の誘客促進事業 3,000千円 ③海辺の魅力創出事業 600千円 ④パーフェクトビーチ環境整備事業 39,018千円	推進	48,618,000円	24,309,000円	指標① 市内の観光入込客数(事業開始前:1,176,306人)	1,246,300人	1,300,215	追加等更に発展させる	本事業は、地方創生にとって非常に効果的であることから、海辺の魅力をさらに高めることにより一層の誘客促進を図る。 事業推進主体の自立化及び地域活性を確立させるため、事業の深化・高度化を目指すこととし、拠点整備交付金で整備するデジタルアートギャラリーのコンテンツ整備や宿泊施設としてのキャンピングトレーラーの追加整備等を行っていく。	【地方創生に相当程度効果があった】 KPIの実績状況では、市内の宿泊者数が目標値に達成していないが、観光入込客数では、過去最高の130万人を達成するなどほんじぎょうの効果が伺える。 本交付金事業は、地方創生に相当程度効果があったものと考えられる。
指標② 市内の宿泊者数(事業開始前:89,945人)	94,440人	88,407										
指標③ 今回の事業で創出される新規雇用者数【H30増加分】	2人	6										
4	くらしの和づくり・仕事づくり応援事業  【広域連携:豊後高田市、大分県、中津市、日田市、佐伯市、竹田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市】 (基本目標: II「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	集落機能を補完し合う「ネットワーク・コミュニティ」の構築を推進するとともに、農林業の稼ぐ力を強化し、地域の維持・発展を図る事業である。 広域的に地域農業をサポートする組織(地域農業経営サポート機構)を立ち上げたことにより、中山間地を中心とした担い手不足地域をカバーし、効率的な営農促進を行った。 法人へ作業機械の管理委託を行い、将来独立した組織として運営できる体制づくりを行った。 【事業期間:平成30年度～令和2年度】	①地域農業経営サポート機構育成事業 4,650千円  (※事業全体の1/2は、県からの補助あり。残り1/2の事業に対して推進交付金充当。)	推進	9,300,440円	2,325,000円	指標① ネットワーク化の希望を叶えた集落数(集落)【H30増加分】	300集落(大分県全体)	657集落(大分県全体)	事業の継続	今後は、主たる担い手への農地集積や大規模機械による作業の効率化・低コスト化により、規模拡大を促進することで市全体の水田作農業の活性化を図る。 将来独立した組織として運営できる体制づくりを行っていく。	【地方創生に非常に効果的であった】 大分県内の連携事業であるが、県内の目標は達成している。 市内においては、中山間地を中心とした担い手不足地域をカバーし、効率的な営農促進を図るなど、地域の維持・発展等、地方創生に非常に効果的であった。